

「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会発言要旨
ー活力部会ー

開催日：平成23年5月26日（木）13：00～15：00

場 所：トキハ会館5F カトレア

出席委員： 矢野 委員 綾垣 委員
 石井 委員 伊藤 委員
 甲斐 委員 壁村 委員
 北崎 委員 桑野 委員
 佐藤 委員 荷宮 委員
 藤澤 委員 横山 委員
 渡邊 委員 和田 委員

- 東京等ビッグマーケットだけでなく、地方にも、その地方にあったものを売っていくという戦略が必要ではないか
- 農業企業者数や法人数は増加しながらも、農業は相変わらず高齢化、後継者不足で厳しく企業や法人を増やすことに力を注いでいただけだったのかという反省がある
- 震災で移住を考えている有機農業家へ空家や農地を提供するなど、早急な受入体制の整備が必要である
- 産業面でアジアと競っていくためには、スピード感が重要であり、もっと行政も、スピード感を持つべきである
- 文化や伝統、アートとコラボの発表の場として商店街を活用すれば、活性化に有効と思われる
- 日本の労働人口は減少しており、これからは女性の社会参画が重要である
- 外国人に対して国は労働力の面で大きな規制を設けており、国に対して規制緩和を働きかけるべきである
- 震災後の観光は、「非日常」だけでなく「癒し」「安心」「健康」「絆」なども重要となってくる
- グローバル化する場合には、①クオリティ②ホスピタリティ③サステナビリティの3つが重要である
- 国際人材を育成するためには、英語は必須であり、インターナショナルスクールの設置を考えてはどうか